

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1493600165	事業の開始年月日	平成23年10月1日
		指定年月日	平成23年10月1日
法人名	有限会社フルライフ		
事業所名	小規模多機能ホームすずらん		
所在地	(〒245-0009) 神奈川県横浜市泉区新橋町1342-21		
サービス種別 定員等	☒ 小規模多機能型居宅介護	登録定員	25 名
		通い定員	13 名
	☐ 認知症対応型共同生活介護	宿泊定員	5 名
		定員計	名
		ユニット数	ユニット
自己評価作成日	平成25年11月1日	評価結果 市町村受理日	平成26年1月17日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先	
----------	--

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

住み馴れた地域の中でその人らしく生活出来るように御利用者様の思いを大切にし、行事（お花見、外食）などは、ご利用者様の意見を伺い、出来る限り希望に添った対応を心がけております。 また、当施設ではセラピー犬を導入しており、ご利用者様に可愛がって頂き、看板犬として皆様の癒しになっております。
--

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	ナルク神奈川福祉サービス第三者評価事業部		
所在地	神奈川県横浜市西区南浅間町8-22-207		
訪問調査日	平成25年11月27日	評価機関 評価決定日	平成25年12月26日

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

【事業所の優れている点】

◇小規模多機能型3機能の最適バランスの追求
・小規模多機能型は、①通い ②訪問 ③泊りの利用の仕方によって利用者ごとにサービスの内容に違いがあるが、事業所では、事前に本人・家族の意向を充分把握した結果を介護計画書に反映し、サービス提供後も利用者の状況に応じて、最も適した利用の仕方になるよう繰り返しケアプランを見直している。
◇利用者一人ひとりの希望に応じた支援
・入浴と食事のみを希望する利用者に対応し、送迎の時間帯を利用者の希望に合わせて、個々の利用者の希望に沿った支援をしている。

【事業所が工夫している点】

◇利用者の状況の変化を見極めた迅速な対応
・食欲の無い通いの利用者には、家族と相談して“泊まり”にしてもらい、他の利用者や職員と楽しく食卓を囲むことで食欲の増進を図るなど、利用者の状況の変化に応じて迅速に対応している。
◇職員の日常の気付きが、直ちに介護に反映される仕組み
・フロアー会議で、利用者個々の情報を話し合い共有し、「すずらんノート」と「利用者個人ファイル」に職員が気付きを記入しており、サービスを変更した場合は、全職員への連絡を徹底している。

【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
I 理念に基づく運営	1 ～ 14	1 ～ 7
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ～ 22	8
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ～ 35	9 ～ 13
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ～ 55	14 ～ 20
V アウトカム項目	56 ～ 68	

事業所名	小規模多機能ホームすずらん
ユニット名	-

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1, ほぼ全ての利用者の
			2, 利用者の2/3くらいの
			3. 利用者の1/3くらいの
			4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1, 毎日ある
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまにある
			4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安な区過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ全ての家族と
			2, 家族の2/3くらいと
			3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ毎日のように
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまに
			4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1, 大いに増えている
			2, 少しずつ増えている
			3. あまり増えていない
			4. 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1, ほぼ全ての職員が
			2, 職員の2/3くらいが
			3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が
			2, 家族等の2/3くらいが
			3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	新入社員には、就業の心得に理念を記載し、説明し、共有しています。 利用者様に意見を聞き、取り入れるようにし、理念実現に努めています。	・全職員が「利用者の尊厳を守り、地域に根差した楽しいホームづくりを目指す」を理念として掲げ、新たに入職するスタッフにも、研修でこの理念を周知徹底してサービスの実践に努めている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内会に加入し、夏祭り等にも参加させて頂き、近隣の方々とも、顔見知りになり、より良い関係作りに努めています。	・広域連合自治会に加入しており、地域の夏祭りなどの行事に利用者とともに参加している。 ・事業所の行事案内も、自治会経由で回覧し、近隣の方に気軽に参加して貰っている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	利用者家族からの相談に、随時対応し、一緒に考え、アドバイスの提供をしています。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	利用者、地域の方、包括職員の参加を得て、2カ月に一度開催し、日常のイベント、ヒヤリハット報告など行い、アドバイスを頂いています。	・地域包括支援センター職員、住民代表、自治会長、民生委員、家族が参加して開催している。 ・参加者から、小規模多機能型のより詳しい説明の希望があり、2か月毎発行のすずらん便りに詳細を掲載して配布した結果、大変喜ばれた。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	困難事例には、区担当者と密に連絡を取り合い、対応しています。 地域包括センターからの利用者様の紹介も頂き、対応しています。	運営推進会議の記録を、区の高齢支援課に持参して事業所の現況を説明し、運営上の協力関係を得るように努めている。又、運営上の困難な事例には、その都度地域包括センターとも連絡を取り協力を得ている。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束マニュアルを作成し、職員研修で拘束のない、介護の徹底をはかっています。玄関施錠は日中はしておりません。	・「身体拘束ゼロへの手引き」を玄関に掲示し、職員全員に配付して研修を行い、身体拘束をしないケアを徹底している。 ・玄関は、日中施錠せずに職員の見守りで対応している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	入浴時、身体状況を観察し、自宅での虐待の兆候を見逃さないようにし、言葉の虐待も有り得るので、言葉遣いにも注意をはらっています。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	必要性のある家族には、十分な説明を行い、関係各所と話し合いを行っています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約締結時、文章の読み合わせを行い、説明をしています。サービス利用開始後に質問が出た場合にも、その都度説明を行っています。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	送迎時、訪問時にご家族に直接意見を頂き、会議の議題としています。また、運営推進会議には利用者代表に参加して頂いています。	・利用者の意向は、送迎時や入浴介助時に、家族からは送迎や訪問時、運営推進会議で、意見や要望を聴き、「すずらんノート」に記載して全職員で共有し、カンファレンスで話し合って運営に反映している。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	2カ月に一回、非常勤も含めた全体会議を行い、利用者様お一人おひとりのごと、気になる事など、意見を出し合い、気持ち良くご利用頂けるようにしています。	・毎週開催するマネージメント会議や、2か月ごとの全体会議で職員からの意見や提案を聞いて業務に反映している。 ・送迎時の配車の問題を「前日に配車、乗員名を記載した予定表を作成する」ことで解決した事例がある。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	個々の希望を聞き入れてもらえるので、働き易い職場環境を整えてくれています。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	日々のミーティングで内部研修を行っています。勤務時間内にも身体介助の方法などのトレーニングを受けています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	小規模多機能連絡会にて、他利用者と情報交換し、サービスの質の向上に努めています。また、ケアマネの勉強会、連絡会に参加する機会も作っています。		
Ⅱ 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	サービス利用前に、体験を通し、ご本人やご家族の希望を伺い、より良いサービスが提供できるよう努力しています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご本人、ご家族との面談をし、困っていることや施設への要望をお伺いし、より良い関係作りに努めています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご本人、ご家族に、今一番何が必要かを話し合い、円滑にサービスをご利用して頂けるよう、支援に努めています。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	寄り添う介護を基本とし、ご利用者様本人の希望に添うような関係性を築く事を目標にしています。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご利用者、ご家族、職員が良い関係性を築く事により、何でも相談して頂ける様に努力しています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	毎週月曜日、馴染みのボランティアの方に来て頂き、体操やレクレーションをして頂いてます。	・友人や知人の面会時にはお茶を出し、馴染みの関係の継続を支援している。 ・行きつけの店で食事をすることもあり、馴染みの美容院への外出にも職員が付き添っている。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	座席を工夫して色々な方とお話できる環境を確立したり、レクリエーションを通じて、利用者同士でコミュニケーションを取れる様に気を付けています。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている			
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	本人、家族とよく話し、思いや意向を把握してスタッフ間で話し合ったり、意見の交換しながら実現に向けて努力をしています。	・本人や家族からの希望を聴き「すずらんノート」記録して、意向に沿ったサービスの実現に努めている。 ・困難な場合は、利用者の仕草や表情から思いをくみとって対応している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	日常会話の中やレクリエーションの中でのお話を元にご利用者様の把握に努めています。その他、家族や前任のケアマネの話を参考にしています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	連絡ノートやご本人のお話、ご家族とのお話の中から現状の把握に努めています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	日常生活状況、本人、家族の意向に添いながら、事業所内での会議やスタッフ同士の話し合いを元に、介護計画書を作成をしています。	・本人や家族の意向、日常生活状況を会議で検討して、個々に最適な介護計画を作成している。 ・介護計画は6か月毎に、又、状況に応じてその都度見直し、利用者に最適なサービスを提供するように努めている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個人記録、連絡ノートを活用して職員間での情報を共有し、皆で話し合いながら、実践に繋げています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	利用時間、病院への受診、急なお泊り、近隣の美容院への送迎など、可能な限り、利用者様家族の希望に添って対応しています。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	町内会への参加、運営会議やホーム内イベントへのお誘いをしたり、送迎時の挨拶など、より良い関係作りに努めている。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	かかりつけ医に受診して頂けるよう、ご家族の同行が困難な場合には、ホームでの送迎や付き添い受診への立ち合いをし、医療面での連携に努めている。	・従来のかかりつけ医での受診を、そのまま継続してもらっている。 ・家族の同伴が困難な場合は職員が付き添い、受診に立ち会って医療面での連携に努めている。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	介護職員は一般状態の変化があれば、報告し、指示受け訪問医などにも報告し、必要あれば看護師と共に受診している。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入退院時、病院への情報提供し、家族との連携を第一にし、主治医、相談員看護師から情報を得て、退院時の在宅生活について、連絡、検討している。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	終末期の対応、看取りについては段階的に考慮し、今後とも出来るだけ家族との連携をとり、進めていきたい。	・法人として、現在関連事業所に訪問看護も取り入れるなど、終末期への対応を検討中である。又、利用者家族の意向を確認し、職員研修も計画している。	・法人としてターミナルケアについての対応を検討中とのことです。早期に方針を確立されマニュアル化されることが期待されます。
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	急変時の対応、応急手当、看護師の指導を受け、研修を行っている。年一回、消防署からのAED取扱いなど訓練を受けている。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	災害時マニュアルに従って、避難訓練し、その他（火災・地震・水害時など）を受け、全職員が避難方法を理解している。	・年2回の避難訓練を行っており、1回は消防署が立ち会い消火器の扱い方、通報を兼ねた避難訓練を行い、2回目は夕刻、宿直1名を想定した避難訓練を実施している。 ・食料、水、カセットコンロ、防寒用アルミシートを備蓄している。	・新しく加入した自治会や、地元消防団との間で、防災協定を結ばれることが望まれます。

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価		
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援						
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	利用者様一人一人の尊厳を守ること。プライバシーとは、声掛けを丁寧にし、席を外される時と、排泄の声掛けなどに気配りをして、人格尊重する事を常に心掛けています。	・職員は入職時に、接遇についての研修を受けており、利用者のプライバシーを損ねない言葉かけを心掛けている。 ・利用者には“さん“付けで声掛けし、丁寧にコミュニケーションを図っている。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	会話中で利用者様が選抜できるように「どうされますか?」「○と△どちらがよいですか?」というように対応して、ホームでの行事も、利用者様の話し合いの中で決定して行くことが多数あります。			
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	その日の体調、様子を見ながら、意向を伺い、レクの内容と入浴時間は本人の希望に添うように支援しています。			
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	入浴後の整容では、髭剃り、化粧等は、利用者様が出来るところはやってもらい、出来ないところは支援しています。カットの希望があれば、地域の美容室にお連れしています。			
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	調理担当者が食事を作っています。個人に合わせた食事形態にし、行事、誕生会などは、利用者様の希望をお聞きして、メニュー作りをしています。外食にも出掛けています。	・食材は業者に委託し、担当職員が調理をしている。行事や誕生会では、利用者の好みを反映してチラシ寿司などを取り入れている。 ・職員は利用者の介助をしながら一緒に食事をし、利用者は可能な範囲で下膳などを手伝っている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	利用者様、個々の現在の状況を把握し、食事量や形態をボードに記入し、配慮できるようになっています。食事の時間にはスタッフも利用者様の間に入り、介助などさせて頂いています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食事後、一人一人の現在の力に応じた支援をし、出来るだけ自立して頂けるよう心掛けています。職員の中に歯科衛生士がおり、個々の指導も実施しています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	利用者様一人一人の現在の力に応じた支援をし、出来るだけ自立して頂けるよう心掛けています。	・排泄チェック表で排泄パターンを把握して職員間で共有し、さりげなく声掛けし、自立に向けて支援している。 ・泊まりの利用者には、ベッド脇にセンサーを置き、迅速に利用者をトイレ誘導できるようにしている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分補給を定期的にして頂き、体操などで無理なく体を動かして頂き、便秘の予防に取り組んでいます。また、家族と主治医の連携により、便秘薬の調整をさせて頂いています。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	利用者様、一人一人の体調や希望を考慮し、少しでも安心して入浴を楽しんで頂けるように心掛けています。	・利用者の希望に沿い、毎日入浴できる。 ・利用者は、職員との雑談を楽しみながら入浴し、入浴を拒む方には、会話を工夫しながら誘導している。 ・季節に応じて、ゆず湯や菖蒲湯を楽しんでいる。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	お昼寝の時間を設定し、その時間は静寂を保ち、安眠して頂けるよう、配慮しています。また、利用者様の体調により、すぐに休めるよう、常に使えるベッドを用意しています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	個人ファイルに薬情報をファイリングし、職員が確認出来るようにしています。本情報は看護師が常にフォローし、変更時は説明を受けています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	新聞広告を使ったゴミ入れ作り、おしぼり、洗濯物たたみを職員と一緒に頂き、毎日のカレンダー作りで、昔の季節の習慣等を教えて頂いたりしています。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	天気の良い日は、暑さに気を付け、入口での日向ぼっこ、散歩をしています。外出は重要な気分転換であり、利用者の意見を伺い、花見、食事会、初詣などに出かけています。	・富士山が見える事業所の近隣や、セラピー犬も一緒に敷地内の散歩を楽しんでいる。 ・利用者の希望を入れて、車でフラワーセンターへ花見に出かけたり、レストランでの外食を楽しんでいる。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	買い物、病院受診時の支払いは、自分で出来る方は自分で支払って頂いております。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	フロアに子機が置いてあり、かけたい時に使用できるようになっています。番号を押せない方や、留守番電話への要件の録音などは、職員がお手伝いしています。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	居間兼食堂は、明るく日差しが差し込みます。落ち着いて過ごせるように、利用者と共に作成した、季節感のある作品や、外出時の写真などを飾って楽しんでいます。また、室温等は、エアコン温度を調節したり、ひざ掛け等を使用しています。	・居間は明るく、室内の温度と湿度は温湿度計を目安にして加湿器やエアコンで調整している。 ・壁には利用者と職員で作成したクリスマスツリーの張り絵の作品などを飾り、季節感を取り入れている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	居間兼食堂での席は、お互い気の合った者同士に慣れるよう配慮し、ソファやリクライニングなど自由に使用して頂いています。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	宿泊用個室は共用なので好みのもの等は置けないが、連泊される方は、衣装ケース使い慣れた枕などを居室に置いています。荷物もお預かりして利用しやすいようにしています。デイの方は、使い慣れたカップやスリッパなどお持ちになり、使って頂いています。	・居室には、電動ベット、エアコンなどが設置され、泊まりの利用者は、枕や使い慣れた日常生活品を持ち込み、又、持参して貰った物品を預かり、いつも同じ居室で居心地よく過ごせるよう支援している。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	廊下、トイレ、浴室には手すりを付けたり、歩行器を利用し、自力で安全確保が出来るような見守りを行い、身体機能に合わせ、自立できるような支援を行っています。		

目 標 達 成 計 画

事業所名 小規模多機能ホーム
すずらん

作成日 平成26年1月14日

【目標達成計画】

優先 順位	項目 番号	現状における 問題点、課題	目 標	目標達成に向けた 具体的な取り組み内容	目標達成に 要する期間
1		重度化や終末期に向けた方針の共有と支援、法人としてのターミナルについての対応を検討中。	・利用者の既往歴や疾病の把握。 ・週末期への方針を話し合い、及び基礎知識の習得。	看護師から利用者の疾病や既往歴を学び、重度化していく利用者様の対応が出来るようにしたい。 終末期への方針は全体会議で話し合いを行う。	12か月
2		年2回の避難訓練を行っているが、事業所関係者のみで行っている。 いざというときに、地域の方（自治会や地元消防団）にも協力を求められるような体制作りをする。	・自治会の消防訓練に参加し、地域住民の方や消防団との防災協定を結ぶ。	地域住民との交流を深め、災害時に協力を求められるように、普段から施設を理解していただく、	12か月
3					
4					
5					

注) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。